

心臓サルコイドーシス患者における免疫抑制療法導入前後での心エコー図検査所見に関する検討

(後ろ向き調査)

研究の背景と目的

心臓サルコイドーシスは致死性不整脈や難治性心不全を引き起こす可能性があり、予後を規定すると言われています。心臓サルコイドーシスと診断された場合にはステロイドをはじめとした免疫抑制療法が第一選択となりますが、どのような患者さんに免疫抑制療法を行うべきか、そして、その効果については十分に分かっていません。そこで免疫抑制療法導入前後の心エコー図検査所見の比較を行い、免疫抑制療法を行うべき患者さんの選択や免疫抑制療法の効果を明らかにすることにつながればと考えております。

対象となる方

2000年1月1日～2024年12月31日までに心臓サルコイドーシスの病理診断もしくは病理診断を受け、診断以降に心電図、心エコー図検査を受けられた患者さんが対象です。

収集する項目

診断名、診断時年齢、患者生年月、性別、診断日、身長、体重、バイタルサイン、既往歴、心電図、レントゲン、心エコー図検査、採血データ（BNP、肝機能、腎機能、生化学、血算、凝固能）、投薬内容、転帰。

患者さんにお願ひしたいこと

基本的には過去の日常臨床で行われた検査結果の調査です。研究のためにこれから患者さんの負担となるような行為はありませんし、この調査の対象となっていることによって、研究的な投薬や治療が行われることはありません。

情報の管理責任者

公益財団法人天理よろづ相談所病院 循環器内科 中川 頌子

情報の利用

本研究で収集した情報を、当院で保管し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

研究内容の開示について

研究計画書や、研究に関する資料は、他の患者さんの個人情報保護に抵触しない限り閲覧が可能です。

研究結果の発表について

本研究の結果が、学会や医学誌で発表される場合がありますが、患者さんの氏名、生年月日、住所などの、個人を特定できる情報、プライバシーにかかわる情報は一切公開されません。また、研究の途中過程においても匿名化され、これらの情報が漏れることのないように細心の注意を払っております。

研究の拒否について

上記条件に該当する患者さんの中で、本研究への協力を拒否される場合は、いつでも参加を取りやめることができます。その際、下記に記しました連絡先まで御一報ください。なお、拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

当院における本研究の責任者：循環器内科 中川頌子

連絡先：天理市三島町 200 番地 天理よろづ相談所病院 循環器内科

電話番号：0743-63-5611